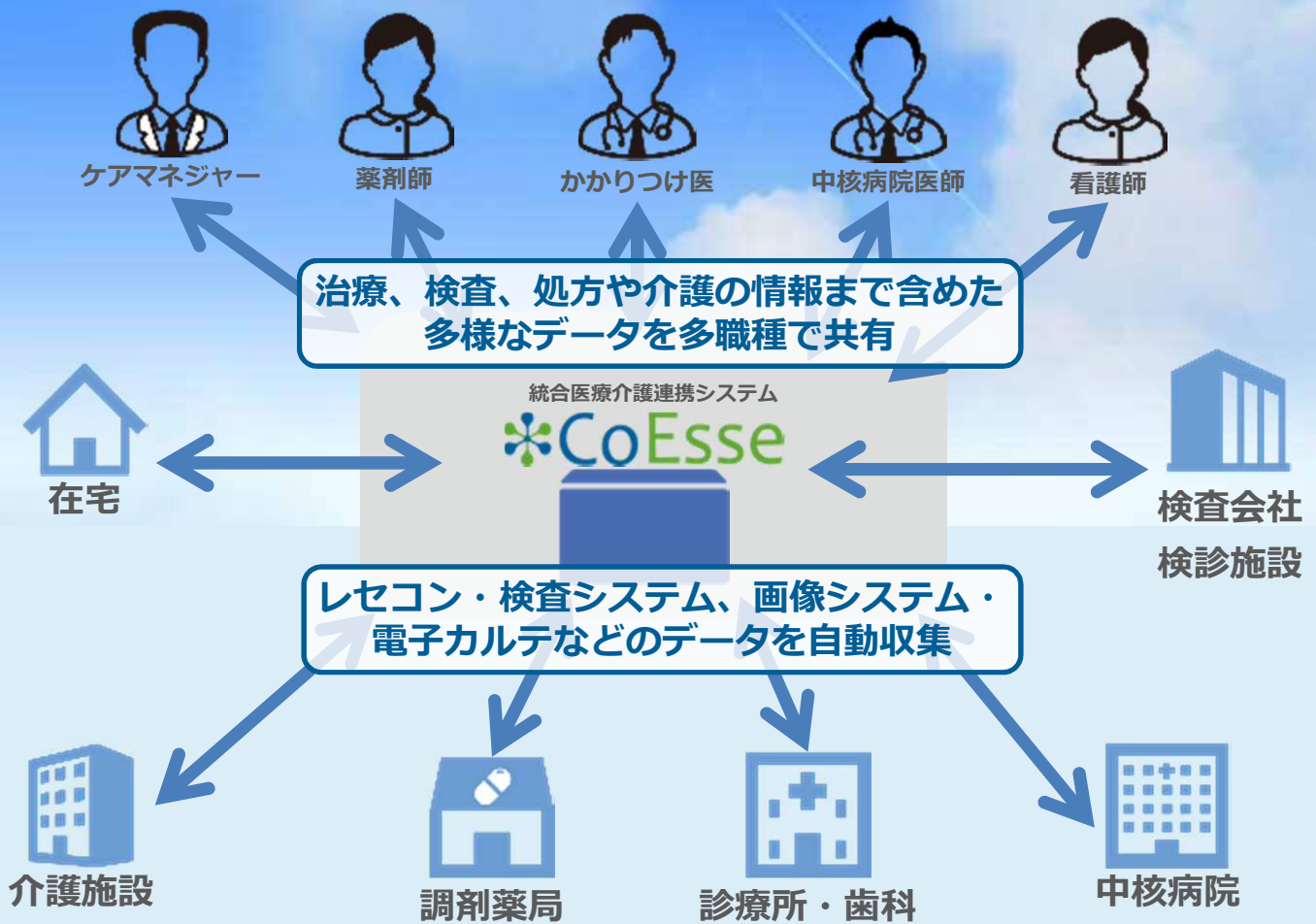


CoEsse

総合医療介護連携システム



電子カルテに依存せず双方向で医療介護連携

多職種連携を促進する支援機能を装備

現状業務に負荷をかけない導入が可能

CoEsse Suite

統合医療・介護情報管理システム

CoEsse Suiteは、医療・介護情報管理システムとして、以下の機能を持ったオール・イン・パッケージ製品です。

CoEsse MC (Medical Care)

医療・介護情報管理アプリケーション

患者の医療及び介護に関する情報(病名・処方・検査・処置・バイタル・ADL等)や、様々な施設で発生した内容を時系列に表示し参照することができ、連携先とのコラボレーション(医療セキュリティー対応mailやポータル及び予約・紹介等)環境も提供するソフトウェアです。

CoEsse EA (Exchange Agent)

医療・介護収集連携アプリケーション

医療情報システム(電子カルテ・医事コン・レセコン・PACS・放射線・検査等)と連携して、自動的にCoEsseへ情報を取り込むためのソフトウェア商品です。

「SS-MIX2」や「HL-7」及びPIX/PDQ等の標準化された情報の取り込み及び出力も可能となります。

CoEsse HC (Home Care)

在宅介護支援アプリケーション

患者の在宅での状態管理をするためのバイタル機器と連携し、ADLを含めた患者の医療と介護の情報を参照及び入力する、タブレット端末用ソフトウェア商品です。

将来的には、患者の見守りやインターネットを通じた映像情報を共有することができる端末に拡張する予定です。

CoEsse Platform

CoEsse基盤アプリケーション

患者の医療及び介護に関する情報、各施設情報、処方情報、検査&画像情報全てを、セキュリティを持って管理し、医療ビッグデータへの活用等に連携可能な基盤ソフトウェアです。

※ CoEsseは、株式会社ヘルスケアレイションズの登録商標です。その他のブランドまたは製品は、それぞれを保有する各社及び機関の商標または登録商標です。

※ CoEsse製品に関して記載されている機能やリリース等の内容については、通知なく弊社の裁量により変更されることがあります。

CoEsseSuite 地域医療介護をつなぐ、見える化する



双方向の地域医療介護連携の実現

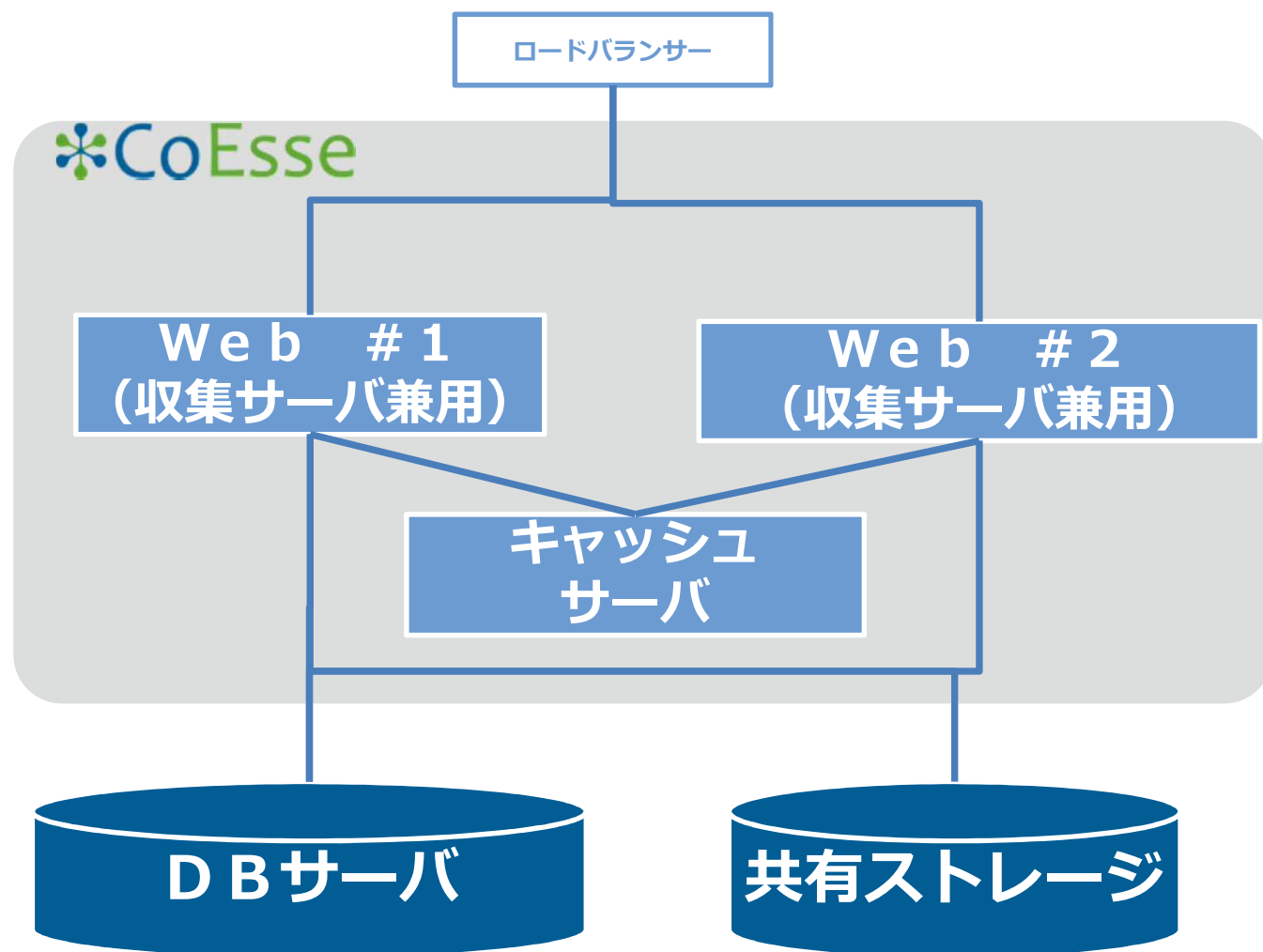
レセコンを中心に、
多様なシステムとの
連携が可能



さまざまなシステムから収集した患者情報を一元管理

CoEsse 動作環境

100同時ログインクラス（地域医療連携クラス）でのハードウェア構成例は以下の通りです。詳細はお問い合わせください。



動作環境

Webサーバ : Redhat Enterprise Linux6.6

キャッシュサーバ : Redhat Enterprise Linux6.6

DBサーバ : Redhat Enterprise Linux6.6
(Oracle使用時はOracle Linux6も可)

アプリケーションサーバ

- Java EE 7対応のServletContainer
- Tomcat8

RDBMS

- Oracle 12c
- PostgreSQL9.3

対応ブラウザ

- Internet Explorer 11
- Microsoft Edge
- FireFox 40.2以降